

職員間の連携と情報伝達について

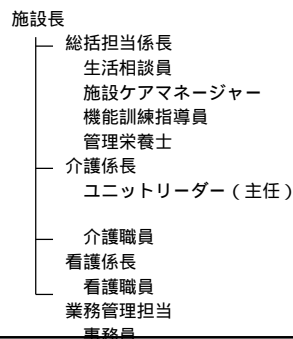
～情報伝達方法の統一とフロア間の円滑な情報交換を目指して～

社会福祉法人 共済福祉会
特別養護老人ホーム 伊豆白寿園
ケアワーカー 石井 輝

伊豆白寿園の概要

所在地 静岡県田方郡函南町平井750
施設種別 特別養護老人ホーム
開設年月 昭和53年6月
定員数 入所者 70名 ショートステイ 10名
特徴 建物は従来型の施設ですが、3つのユニットに職員を固定し、利用者との心とこころの触れ合いを重視しております。

伊豆白寿園の運営体制



平成21年度

研究グループ「研修班」の活動テーマ

H21年度新メンバー7名はH21.3月に決定していたため、活動を3月より開始した。活動テーマの対象範囲は施設での利用者の日常生活や業務における課題や問題点とした。

施設での課題の把握

時期：平成21年3月実施

方法：聞き取り調査

1. 対象者・・・全職員
2. 内容・・・施設での利用者の日常生活や業務における課題や問題点は何か？

1 - 聞き取り調査結果

稼働バランスが要因として挙げられているもの

- ・もっと訓練を行っていききたい。
- ・利用者とのコミュニケーションを図りたい。
- ・余暇活動の充実を図りたい。
- ・ゆっくりと利用者とは話す時間を作りたい。
- ・記録する時間をもちたい。
- ・余裕をもって介護をしていきたい。

1 - 聞き取り調査結果

個別処遇(ケアプラン)に関すること

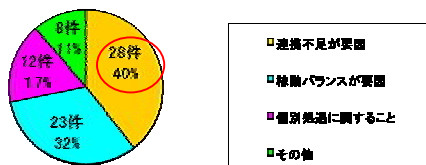
- ・ショートステイ利用者の環境づくりに努めたい。
- ・ケアプランに沿った処遇展開を図りたい。
- ・対応が難しい方の支援方法を工夫していきたい。

1 - 聞き取り調査結果

連携不足が要因として挙がっているもの

- ・適切に情報の共有を図りたい。
- ・連携を図り、団結して物事に取り組みたい。
- ・決定事項が徹底できるようにしたい。
- ・ユニット間他部所と円滑に連携、情報共有を図っていききたい。
- ・コミュニケーションを密にし、お互いに信頼し合える関係にしたい。

聞き取り調査 分析結果



連携不足に焦点を当てて取り組むことにした

「連携不足」に関する詳細を把握するための再調査

時期：平成21年6月実施

方法：聞き取り調査

1. 対象者・・・全職員
2. 内容・・・
 - 1) 連携不足と感じていること
 - 2) 具体的にどんなことで困っているか

2 - 聞き取り調査結果

ユニット内に関する項目

- ・ユニットリーダーにもっと相談し意見を伝えたい。
- ・ユニット内での職員同士の声かけを充実させたい。
- ・申し送りでの情報をリーダーから伝えたい。
- ・ユニット会議の回数を増やしたい。

2 - 聞き取り調査結果

施設全体に関する項目

- ・報告・連絡の漏れをなくしたい。
- ・言った、言わないをなくす為、申し送りの徹底や記録を残したい。
- ・委員会のあり方、内容の進め方に、現場の意見も参考にしてほしい。
- ・連休中の緊急時の連絡体制を知りたい。
- ・1Fの掲示板をゆっくり読みたい。

ユニットリーダー会議とは・・・

- 施設には3つのフロアが存在し、それぞれのフロアにユニットリーダーが配置され、フロアの管理と職員の育成を担っている。
- ユニットリーダーが集まり、介護現場全体の課題への取り組みやフロア間の情報交換を図る場としている。
- ユニットリーダー会議は月1回開催している。

ユニット会議とは・・・

- 3つのフロアの職員が参加し、フロア内の課題解決、情報共有等意見交換を行なう会議である。

研修班とは・・・

・白寿園では、『食事』『排泄』『入浴』『研修』の4つの班があり、全職員がどれかの班に所属することになっている。
その中で、『研修班』は施設全体の課題解決に向けて取り組みを行う班である。

ユニットリーダー会議での取り組み

- 1 リーダー会議で取り組む内容の要因について検討する。
- 2 要因に対する対策案を立案する。
5つの案が挙がった。
- 3 5つの案の内、効果的かつ能率的な案を採用する。

ワーカー情報連絡会を開催

ワーカー情報連絡会の開催にあたり

限られた時間の中で行なう職員会議や、ユニット内の情報交換を行なうユニット会議だけでは・・・



ワーカー同士の情報交換の場がなく、他ユニットの職員と協力体制をとることが難しい。

ワーカー情報連絡会の内容

- 1 全ケアワーカーを9つのグループに分ける。
(1グループ3名)
少人数制の会議体を目指す。
- 2 職員に取り組みたいテーマを事前に考えてきてもらう。
時間短縮と意見交換の充実を図る。
- 3 各グループでテーマについて話し合い、自由な意見交換を行なう。

ユニットリーダー会議での取り組み (まとめ)

ワーカー情報連絡会を開催

《職員からの声》

- ・日頃感じていることや問題点を把握することができた。
- ・他ユニットの職員と意見交換することで、情報の共有を図れた。

《平成22年度》

得られた課題に取り組んでいる。また、ワーカー情報連絡会を必要に応じて開催することにした。

ユニット会議での取り組み

ユニット内の情報伝達方法及び流れの見直し



1. 申し送り伝達ノートの活用方法の統一
2. 各ユニットのホワイトボード管理方法の統一

研修班での取り組み -

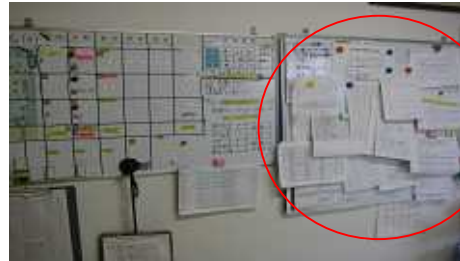
全体周知用ホワイトボードの見直し

問題点

- ・利用者対応の重要な周知や指示を見落としてしまった。
例) 退院後、ADLの低下があり歩行時や立ち上がり時不安定になり、転倒の危険性があるとのことだったが全職員に周知が行き届かず、転倒されてしまう。
- ・緊急の会議等の情報を見落としてしまった。
例) 急遽、会議を開催することになったが、周知文書がどこに貼ってあるかわからず、会議に遅れる職員が多かった。

限られたスペースで職員が見やすく、
一目見ただけで最新情報を確認できるようにする

研修班での取り組み - 《従来のホワイトボード》



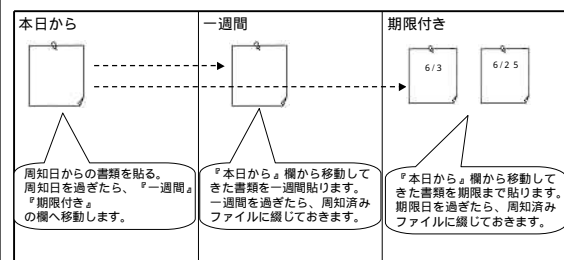
研修班での取り組み -

《従来のホワイトボード》 拡大図



研修班での取り組み -

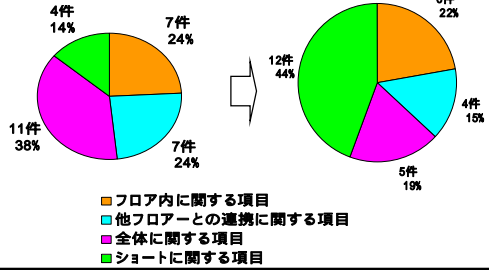
《改善後のホワイトボード》



取り組みの効果

《平成21年6月調査結果》

《平成22年6月調査結果》



ご清聴ありがとうございました